

予算決算常任委員会報告

令和5年2月17日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。
令和5年2月8日午後1時00分及び9日午前9時57分から美浜町議会全員協議会室において、委員13名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、2月8日に本委員会に付託されました議案13件の審査を行いました。

当日は説明のため、町長、副町長、教育長、各課長、局長、所長及び会計管理者の出席を求めました。

また、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

(1) 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度美浜町一般会計補正予算（第6号））

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：出産・子育て応援交付金給付事業であるが、支援の対象者については行政の方から案内が行くのか。あるいは申請しなければいけないのか。

回答：確定している139名の対象者については案内をしている。案内をされた人は申請が必要で現在94名、67.6%の方が申請をしている。

(2) 議案第2号 令和5年度美浜町一般会計予算

総務課長より説明を受け、質疑に入りました。

<町の予算概要>

質疑：歳入予算額に占める原子力関係の割合はどれくらいか。

回答：令和5年当初予算ベースでは、原子力発電所関係の歳入の見込み額は29億4,900万円で、町税総額に占める割合は73.48%である。

質疑：歳入予算額の状況の中で「関西電力の美浜発電所に係る償却資産分の増収を見込み、一部留保している」という部分があるが、その理由は何か。

回答：歳入については歳入に見合う額を計上している。留保財源は13億円を見込み、今後の補正予算の財源として留保している。

質疑：普通交付税がゼロということだが、財政力指数が1を超えるということか。

回答：令和4年度の実績が1.06であることを踏まえると、令和5年度もその値に近いものになると考える。

質疑：性質別歳出予算において、物件費の公共交通事業委託費が減ったということだが、今度の新方式のデマンド交通実証運行の費用は物件費ではないのか。

回答：デマンド交通実証運行の費用は負担金になるため、補助費等に含まれている。

質疑：物件費も補助費も減っており、併せて1億円ほどの減額であるが、その内訳はどうなっているのか。

回答：民宿等活性化事業の終了・ふるさと納税の減額・定住促進対策・道の駅の移転補償費等で、合わせて1億6,700万円の減額。デマンド交通・全中ス

ポーツ大会補助金・五木マラソン関係等で7,100万円ほどの増額であり、差し引き1億円ほどの減額になる。

<議会費から総務費>

質疑：「美浜町職員「人財」育成事業407万円」であるが成果は上がっているのか。

回答：人財育成事業については、特に待遇研修や仕事のモチベーションをあげる等の研修を中心に行っており、ほかにも課題を整理して研修計画を立て、年齢や役職に応じて必要な研修を継続している。

質疑：人財育成事業の中で、メンタル等の理由により休職している職員に関する研修やケア的なものは考えているのか。

回答：近年病気で休職、休業の方が多くなっているため、メンタル面の研修も職員、管理職に向けて行っており、職場に戻る復帰支援も合わせて産業医、町の保健師と一緒に支援していく計画である。

質疑：「考える職員」「元気な職員」「美浜を愛する職員」を育てると書いてあり、目標を明確に設定すべきではないか。

回答：数値目標を設定するのは難しいが、課題や年齢や役職等をよく考えて、継続性のあるカリキュラムを編成し実施していきたい。

意見：組織運営の優れた指南書であるISO9001規格に、「経営資源の管理」という要求事項があり、その中で特に「組織内の人（人的資源）の力量の把握と改善」を強く求めている。重要になるのは教育になるが、どんな教育を行うかという教育のニーズは、時代の変化・組織の方針や施策・顧客の声等に応えるために必要な力量と、職場や個人が現在保有する力量を比較し、不足する力量を補うことが基本になる。各職場のあらゆる職種と階層の人が、職場や自分に不足する力量を考え、何を学ぶべきかを見出して、組織として地道に明るく教育ができる仕組みと風土を作してほしい。

質疑：「移住定住促進事業1,140万円」であるが、それぞれの補助には所得制限があるのではないか。

回答：所得制限があるのは、国の補助金による結婚新生活支援事業であり、現在国の補助金30万円に町費10万円を上乗せしているが、この上乗せを止めて所得制限を設けない制度を6月補正予算に向けて考えている。

意見：U・Iターン移住就職等支援金も所得制限があると思うが、所得の多い人が移住してくれば、税収等で町としても更にメリットがあると思うので、この事業についても所得制限の緩和を考えて欲しい。

質疑：「音声告知放送等管理事業2,946万円」であるが、音声告知端末を撤去するのにこれだけ多額の費用がかかるのか。東地区は既に完了しているとのことだがいくらかかったのか。またこの金額は端末の撤去と処分費なのか。

回答：北地区、耳地区、南地区で3,000軒弱あり、端末等の撤去費用と処分代である。東地区は900軒ぐらいで875万円かかっている。端末機設置は

補助対象だが、撤去は補助対象外なので一般財源になる。

意見：1台の撤去に1万円は高すぎる。端末機を集めて渡すだけならもっといろいろな方法があり、撤去費用が安くなるよう努力を願いたい。

質疑：「RPA事業300万円」であるが具体的に何をするのか。

回答：会計年度任用職員の給与等支払い事務、各種健診受診希望調査入力事務、有害鳥獣捕獲報告書とりまとめと報奨金支払い事務について、単純化された業務をAIで効率的に行うものであり、50%以上の労力削減効果を見込んでいる。

質疑：「美浜ふるさと納税推進事業9,314万円」であるが、寄付見込額1億5,000万円は現状維持の目標に見えるが、増やす計画にすべきではないか。

回答：現在、ふるさと納税が伸びている自治体は、中間事業者を挟みしっかり対応しているところと、新たな返礼品の開発を積極的に行うところであり、今後それらを踏まえ新たな展開をして納税額を上げていきたい。

質疑：「エネルギー環境教育体験館運営事業5,687万円」であるが、きいばすの来館状況はどうなっているのか。

回答：コロナの影響もあり一概には比較できないが、令和4年度途中ではあるがイベント等も開催出来て来館者数は伸びている。来年度は、イベント企画としてサイエンスキャンプや企画講座で人気の高いロボットプログラミングのイベントを計画しているが、国や県にもきいばすを活用した取組をしていただくよう求めている。

質疑：議会費の中の旅費についての確認だが、議員の視察研修での移動手段は、安全性を考えるとバス会社に依頼すべきと思うが、経費の削減で難しいと聞く。これは改善できるのか。

回答：職員の場合でも安全性を考え基本はJRで考えており、無理な場合は貸し切りバスの対応もしている。安全が第一なのでそれを考慮して予算編成を行っている。

質疑：JRの場合は議長のみがグリーン車を利用でき、他の議員は利用できないと聞いたが条例で決まっているのか。

回答：「美浜町特別職職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例」が根拠であり、地方自治制度の地方実務提要に従い、経常的経費削減と住民感情の観点から、現在のところ町長、議長に限ってグリーン車の予算計上を認めている。

質疑：「健康楽膳拠点施設運営事業1,377万円」であるが、収益的に改善しているのか。また町外者などは施設（こるば）の場所がわかりにくいので、大きな看板を設置する等の対策を考えないのか。

回答：「こるば」の利用者数は増えてはいるが収益については若干減少している。看板については「園芸LABO」を含めて一体的に検討していきたい。

質疑：指定管理料は「こるぱ」の収益に連動して変わるのか。

回答：指定管理の期間が5年になっており、毎年度、協定で定めることとなる。四半期に一度、指定管理の選定審議会の委員も参加した委員会を開き、経営状況をモニタリングしている。そこでアドバイスをもらいながら改善に努めている。

質疑：「集落づくりサポート事業1，196万円」だが、各集落のプランの内容は公開しているのか。

回答：現在24集落から集落元気プランが提出されていて、そのうち活動支援事業を活用しているのは15集落である。内容は積極的には公開していないが、各集落の取り組みを先進事例として参考にするためには、公開できる部分は情報公開していく。

質疑：「東京美浜会開催事業118万円」であるが、首都圏との人的交流であれば「応援人口創出事業」と内容的に重複するのではないか。

回答：東京美浜会は関東地域在住の本町出身者及び関係者との情報交換、並びに親睦を深めることを目的に組織されており、今後は活動内容を共有できる部分もあると考えている。東京美浜会はメンバーが100人ぐらいと聞いているので、その会員が増えていくような支援も行っている。

<民生費から労働費>

質疑：「感染予防事業4，951万円」だが、今後コロナのワクチン接種が有料になる可能性があるのだが、その補助の予算は考えているのか。

回答：国の動向に注視しながら、必要であればその都度補正予算を検討していく。

質疑：「福祉支援センターあいばる管理運営事業1，200万円」だが、利用者数が延べ人数なので実態が掴みにくいが、需要が多い割に施設規模が小さくないか。

回答：児童発達支援と生活支援の2つの事業を実施しているが、それぞれの事業に定員がありその中で調整している。特に発達支援の作業療法や言語療法については予約がいっぱいになることもある。人材が嶺南では少ないこともあるが、作業療法を受ける回数を出来るだけ増やす方向で交渉に入っている。

質疑：敦賀市との事業負担金「廃棄物処理広域化事業1億4，406万円」と若狭町との事業負担金「美浜・三方環境衛生組合負担金1億5，991万円」、及び若狭町との堆肥化施設「農村振興総合整備統合事業負担金5，351万円」であるが、住民にしっかり理解していただく為に、計画が固まった時点で都度議会に状況説明すべきだと思うがどうか。

回答：今年3月でガス化溶融炉が受け入れを停止し、解体までの間、清掃や環境対策を行っていく必要がある。この計画を策定していく中で、議会にも適宜説明していきたいと考えている。

質疑：「新たな出会い応援事業185万円」だがイベント開催は何回行い、40歳以上の参加者はいたのか。また、早婚支援は何組利用し、婚活の登録は何人いた

のか。

回答：イベントは7月と10月に計2回実施しており、40代も計6名参加している。早婚支援は令和3年度に4組あり、令和4年度はまだ途中だが1組の申請がある。マッチングシステムも県全体では1,189人の登録があり、美浜町は15人の登録がある。

質疑：早婚支援金は25歳以下での結婚が対象であるが、これを35歳以下程度に拡大し、もっと实际的で効果が見込める制度に改善すべきだと思うがどうか。

回答：これは県の補助事業で、双方または一方が25歳以下というのも県の条件である。まちづくり推進課にも類似した補助金があるので、それらも含めて整理し町独自の制度化の可能性について検討していきたい。

質疑：「緊急通報体制等整備事業191万円」であるが、この事業は独り暮らしの方全員に周知されているのか。

回答：ホームページにも掲載しているが、民生委員等が訪問された時に声掛けして申し込みされるケースが多い。

質疑：「病児デイケア促進事業415万円」だが、これは敦賀市との事業で美浜町の利用者が少なかったと記憶しているが、利便性を高める取り組みは行ったのか。

回答：令和3年度の実績は2名だったが、本年度は12月現在で17名の利用がある。保育園等にチラシを置き周知を図った。

<農林水産業費から商工費>

意見：「有害鳥獣対策事業1,619万円」であるが、主な経費は捕獲報奨金になっているが、有害獣侵入防止柵が経年劣化し、猪等が簡単に出入りできる箇所が多々ある。侵入防止策の修繕事業も併せて実施すべきだと思う。

質疑：現在美浜町では、捕獲檻を何台程度貸出しているのか。

回答：猿檻が5台、ハクビシン檻が10台、猪・鹿用が14台である。それ以外に猿用の地獄檻が、新庄・和田・大藪・菅浜・太田の5ヶ所に設置されている。

質疑：町内に置かれている檻に、責任者や有効期限のプレートが付いていないものが散見される。また腐食してシャッターも壊れたままになっているのがあるが、管理はどうなっているのか。

回答：罾・檻の設置には狩猟免許が必要で、プレートを付けるのがルールになっており、貸し出した檻の管理は設置する人に任せているが、今後この点については確認させていただく。

質疑：「スマート施設園芸拡大推進事業1億5,749万円」の園芸ハウスは何処に作られ、どのくらいの規模なのか。

回答：中寺橋から興道寺に至る道路に面した南側で、現在造成している。約3反分、8棟でトマトの周年栽培を予定している。

質疑：「若狭美浜観光PR事業1,642万円」だが、主な経費として観光地域づくりマネージャー派遣負担金1,000万円とあるがこれは何か。

回答：4月12日にレイクセンター、6月2日に道の駅がオープンし、町内のハード整備は概ね完了するが、いかに誘客するかが極めて重大である。旅行会社の社員など外部の専門人材の派遣を受け、PR、着地型旅行商品の開発、県内外への営業強化などを、観光協会やDMOと一体となって行っていきたい。例えば大手旅行会社の社員などから1名派遣してもらい、その派遣元に負担金という形で支払う形を想定している。

質疑：わざわざ企業に委託しなくても、美浜町民の中から人材を有効に活用してはどうか。専門性を有したしっかりとした人材を雇用することも考えてはどうか。

回答：そのような方が見つければ検討したいが、やはり民間大手企業の社員のノウハウは活用したいと考えている。

質疑：町外のいろんな観光地で、地元の観光ガイドを養成し活動していると聞く。美浜町や若狭地方でも検討できないか。

回答：今年3月に、三方五湖DMO(株)に委託し、ガイド養成講座を実施する予定である。

質疑：「新規就農支援事業1, 186万円」や農業人材育成事業等を通じて、美浜で就農された人材が安定的に美浜に定住しているのか。

回答：実際に定住する流れはできていると思う。今後もカレッジから研修生が入ってくる流れもあるので、一旦は黄舎で受けて研修の間に定住につなげたい。

質疑：和田地区で整備中のキュウリハウスであるが、従事する予定の方が確保できなくなったと聞くが補充は出来たのか。

回答：JA福井県がリースする施設になるが、病気でリタイヤされたということで、町とJAで対応しほぼ目途が立っているところである。

<土木費から消防費>

質疑：「老朽危険家屋等対策事業364万円」だが、補助の対象は民家だけで蔵や納屋は入っていないのか。

回答：町内特定空き家は48軒あるが、すべて民家で蔵や納屋は除外している。

質疑：壊れかけた蔵が沢山あり、補助があれば壊したい人が多くいるが、補助は出ないのか。

回答：基本的に国の施策に則って住居をメインにしている。民家以外も補助すべきという意見も多くあり、今後の課題として検討を進める。

質疑：「おもてなし街道魅力アップ事業540万円」であるが、その路線はどこで「道路維持事業3, 448万円」との違いは何か。

回答：「道路維持事業」は町道の維持管理で、基本的に町道全部の予算であり、「おもてなし街道魅力アップ事業」は町内の観光地につながる道路等の、除草や景観アップのための事業を予定している。

質疑：北田・菅浜線では、落石防止ネットが落石で満杯な部分があり、また海岸部分の道路が波で陥没しそうなどところがあるので対処頂きたい。

- 回答：北田・菅浜線の新しく町道になった部分の一部が、海洋洗堀により石積みが壊れているところがあり、昨年度ボトルユニットで仮設応急対応をしたところである。令和5年度には、県の事業に乘せるべく鋭意対応していきたい。
- 意見：5年ほど前から、町民からも議会からも、佐柿・河原市・郷市の道路に融雪装置を付けてほしいという要望があるが一向に進んでいない。雪が降るたびにその声が出ており、スケジュールを決め工程表を提示して頂きたい。
- 質疑：「美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業1億5,755万円」の中の、「デジタルサイネージ管理業務委託料410万円」とは何か。
- 回答：道の駅中央部の2階通路に大型液晶モニターを4台設置し、観光客に対して時刻表や広告等のコンテンツを作り流す業務と、本体の維持管理費用である。
- 質疑：レイクセンターやレインボーラインの整備に併せて、早瀬と笹田の県道を拡幅する計画があったと思うが状況はどうか。
- 回答：県の事業になるが、地権者に対して県と町の担当者が道路拡幅の事業計画を説明した。県では設計業務の予算化を進めており、今後設計内容を踏まえて県と町が協力して進めて行く。

<教育費から職員の給与等>

- 質疑：「生涯学習センター管理事業5,245万円」だが、1月29日に利用させてもらったが、空調が壊れているのではないかというぐらい寒かった。普段もこんな状況で運営しているのか。
- 回答：空調設備の故障はない。電気代等の制約でデマンド対応の中で運営しており、改善できるよう善処する。
- 質疑：「埋蔵文化財緊急調査事業240万円」に関連すると思うが、興道寺廃寺の状況が新聞で報道された。5年にわたり放置された状況をどう改善するのか。
- 回答：20年に渡り興道寺廃寺に携わっていたが学芸員が退職した。しかし保存活用計画、整備基本計画は取りまとめているので、年次計画に沿った形で国の補助金を睨みながら進めている。改めてスケジュール等の計画を提示する。
- 意見：教育委員会は40もの事業を抱え、ソフトは元よりハードもやっており、非効率ではないかと危惧する。教育分野は非常に大事であり、機能別に分けたり専門分野で分けたりと、今後の体制そのものが問われていると思う。
- 意見：「給食センター管理運営事業1億276万円」の中の月1回のプレミアム給食だが、へしこの町美浜と言われながら、へしこが給食に出されていない。以前は出されていたが、骨の処理等が大変で出されなくなったと聞く。もう一度復活させてほしい。
- 質疑：「本とのふれあい活動事業162万円」と「図書館情報システム化事業493万円」、及び「図書館運営事業962万円」の3つの事業だが、令和4年の予算と比べるとそれぞれ減っていて、合わせて400万円ぐらい減っている。また現状の図書館は3人ぐらいを中心に回っていて、非常に長時間で、8万

冊の蔵書の管理と年間2万人弱の入館者の対応をしている。業務過多と思うが、人員を増やす等の考えはあるのか。

回答：現状は、館長、司書1名、会計年度職員2名、「なびあす」との連携で1名、それに有償ボランティアの人たち等で運営しており、朝から夕方6時半までになるが、シフトを組みながら運営している状況である。

質疑：図書館は町の文化面を支える非常に大事なものだと思う。力を入れていただきたい。あと、図書購入費だが400万円でもう何年も変わっていないと思う。現在、単行本にしても1冊の値段が非常に上がっている。図書購入費を今後上げる予定はあるのか。

回答：毎年この額で、年間2,000冊から2,500冊購入している。市民のニーズ等を把握して必要であれば増額して予算要求していく。

<歳入全般>

質疑はありませんでした。

(3) 議案第3号 令和5年度美浜町診療所事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(4) 議案第4号 令和5年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：美浜町における医療費の大きな疾病を、3つ挙げると何になるのか。

回答：毎年、循環器系の疾病、悪性新生物（がん）の疾病、筋骨格系（整形関係）の疾病が大きな医療費を占めている。

意見：そういう状況であれば、こるぱを造って食の改善を実施し、減塩運動を展開するストーリーは成立すると思うが、今後ともしっかりとフォローしていただきたい。

(5) 議案第5号 令和5年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(6) 議案第6号 令和5年度美浜町介護保険事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(7) 議案第7号 令和5年度美浜町簡易水道事業特別会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：「丹生・竹波簡易水道施設改良事業5, 646万円」であるが、配水池の耐震診断を令和5年度に実施するが、実際の工事は何時になるのか。

回答：実際の配水池の耐震診断・工事は、令和5年度と6年度に行う予定である。
なお、令和4年度に設計した丹生の配水管工事は、令和5年度と6年度に実施し、竹波の配水管工事は令和5年度に設計業務を行い、令和6年度と7年度に工事を行う予定である。

質疑：先般の寒波の時に、町内で100ヶ所以上の宅内漏水が発生し、特に簡易水道管内が多かったと聞くがどの様な状況だったのか。

回答：管工事組合の話では、凍結が原因と思われる漏水が80件～100件発生した。菅浜、竹波、丹生の簡易水道においても5ヶ所ほど漏水し、配水池の水位が低下したが、職員等が出て漏水箇所を発見・修理できた。

意見：空家での漏水も多く発生したと聞くので、空家対策の一環としても漏水対策が必要だと思う。

質疑：「上水道統合整備事業5, 966万円」であるが、東地区の現状と完了予定時期は何時になるのか。

回答：今市～けやき台間、約1, 100mの配水管工事が残っており、令和7年度の完了を予定している。

(8) 議案第8号 令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：「地方創生汚水処理施設整備交付金事業6, 300万円」であるが、酷く老朽化している菅浜集落の排水処理建屋の、修繕費用は含まれているのか。

回答：この予算には含まれていないので、現場を調査して対応する。

(9) 議案第9号 令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(10) 議案第10号 令和5年度美浜町産業団地事業特別会計予算

産業振興課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(11) 議案第11号 令和5年度美浜町住宅団地事業特別会計予算

土木建築課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：「住宅団地整備事業1, 102万円」であるが、金山住宅団地の販売は何時頃を予定しているのか。

回答：現在工事を行っている第1期分7区画については、第2期分工事の作業道路になる1区画を除く6区画を、今年(令和5年)夏に販売開始する予定である。

(12) 議案第12号 令和5年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算

土木建築課長より説明を受け、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

(13) 議案第13号 令和5年度美浜町上水道事業会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

(1) 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度美浜町一般会計補正予算（第6号））

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(2) 議案第2号 令和5年度美浜町一般会計予算

は賛成多数をもって承認することに決しました。

(3) 議案第3号 令和5年度美浜町診療所事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(4) 議案第4号 令和5年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(5) 議案第5号 令和5年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(6) 議案第6号 令和5年度美浜町介護保険事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(7) 議案第7号 令和5年度美浜町簡易水道事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(8) 議案第8号 令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(9) 議案第9号 令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

(10) 議案第10号 令和5年度美浜町産業団地事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

(11) 議案第11号 令和5年度美浜町住宅団地事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

(12) 議案第12号 令和5年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

(13) 議案第13号 令和5年度美浜町上水道事業会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のおり審査を終了し、9日午前11時48分本委員会を閉会しました。

これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。